

## Q 消防学校って どんなところ？

消防学校は、県内の消防職員および消防団員を育成する施設です。滋賀県消防学校には教官が6名（うち消防職員が4名、県職員が2名）います。

県職員の教官が主に担当するのが「初任教育」といい、県内の新任消防職員が現場に出る前に受ける教育訓練で、4月～9月の6か月の間のカリキュラムとなっていています。

消防経験のない県職員が教官として初任教育を行うのは、全国でも非常に珍しい事例です。■

## Q 苦労したことは？

消防学校に異動して、苦労したことはたくさんあります。元々、走ることは好きでしたが、体力への自信や、消防に関する知識が全くなかったため、すべてが不安でした。

教官として、指導する立場にいる以上、初任科生よりも訓練や座学ができないと誰もついてきてくれません。

## Q 生徒との

### コミュニケーションは？

忙しい中でも、情報共有と初任科生のメンタルケアは重視しています。生徒によって、得意、不得意、性格等が異なります。その日の体調や訓練結果等について、教官同士で情報共有をするだけでなく、生徒全員と毎日、手書きの個人日誌でやりとりすることで、サポートをしています。■



# 02

仕事中に練習する時間はなかったのですが、授業の終了後や休日に勉強や訓練の予習、そして基礎体力の強化をしていました。前任の教官や消防職員の方たちにサポートしてもらいながら負けず嫌いな性格を活かして、必死に努力しました。

指導の現場だけでなく、何気ない言動や仕事に対する姿勢も手本となるように気を張って過ごしています。■

## Q ミッションは？

現場で住民のために全力で活動し、また現場で役に立てる隊員として、初任科生を採用元の消防本部に送り出すことが初任教育における教官の使命です。隊での行動が基本の消防では、誰一人として欠けてはいけません。生徒全員を一定のレベルまで育てなければならぬのです。

訓練や授業の他に、これらの準備や後片付けの支援を行います。実技や筆記の試験を行います。追試やそのための補講も

消防学校での行政職員の仕事や経験とはどのようなものなのか。岡村主任教官にお話を聞きました。

## 消防学校へ 潜入

# 消防学校の教官を務める行政職員 Q&A。

Interview by HATA, OSAKI, HORI, TSUJII

## Q 修了式を終えて の思いは？

令和6年9月26日、72名の初任科生の半年間に及ぶ訓練の最終日を迎えました。約三〇〇名の家族や関係者が見守る中、これまでの成果を披露する形で行われました。修了式後に岡村主任教官は、「初任科生を送り出す瞬間が最もやりがいを感じます。指示しないと動けなかった生徒たちが、自ら動くようになり、現場で活躍できるように成長した姿を見ると、とても嬉しいです。猛暑や厳しい訓練にも耐えて最後までよくやってくれました。今は無事に終わってほっとしています。」と話されていきました。

安どの表情を浮かべながら充実感に満ちた姿がとて印象的でした。■

## 岡村 聖也 主任教官

平成25年、入庁。大津土木事務所、土木交通部監理課での勤務を経て、入庁7年目に消防学校へ異動。「異動先を知ったときは、本当に驚きました。」とインタビューに応じてくださいました。

